

# 選挙で政治変えよう 4000人

## 若憲実行委とシールズがデモ

東京・新宿

行委員会とSEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動）が呼びかけました。サウンドカーの上では「必ず投票に行きましょう。変えるべきは憲法ではなく政治だ」と若者がスピーチします。

同実行委員会の中山歩美さん（26）はマイクを握り「選挙まであと2カ月を切りました。18歳選挙も始まります。未来のため、自分のため、同世代に投票を呼びかけます」SEALDsのメンバー、大高優歩さん（21）は「選挙に行つて意味がないことなんてありえないと思つていきます。選挙へ行く意味とは、勝敗を決めることではなく、選択をすることにあるからです」とスピーチしました。

日本共産党の吉良よし子参院議員が参加しました。若者憲法集会は、「声を上げよう！ 私たちの命と自由のために」をテーマに開催されました。

一人ひとりが主権者として行動し、選挙で政治を変えようと15日、東京都内で若者憲法集会和デモが行われました。「7月参院選 投票に行こうよ」と銘打ったデモには、全国の若者ら4000人（主催者発表）が参加。休日できわぬ新宿の中心街で「戦争法廃止」などのプラカードを掲げながら、サウンドカーから流れる音楽やドラムのリズムに合わせてコールしました。野党を勝たせようと「市民の力で政治を変えよう」「投票すれば未来は変わる」と訴えました。

神奈川県伊勢原市から参加した田中萌子さん（22）は「戦争に加担せず、もっと民主主義がしっかりした日本にしたい」。戦争法（安保法制）がきっかけで、デモなどに積極的に参加するようになりました。「自分の周りの人にも『投票しよう』と声をかけていきま

若者憲法集会同面

5/16 旗



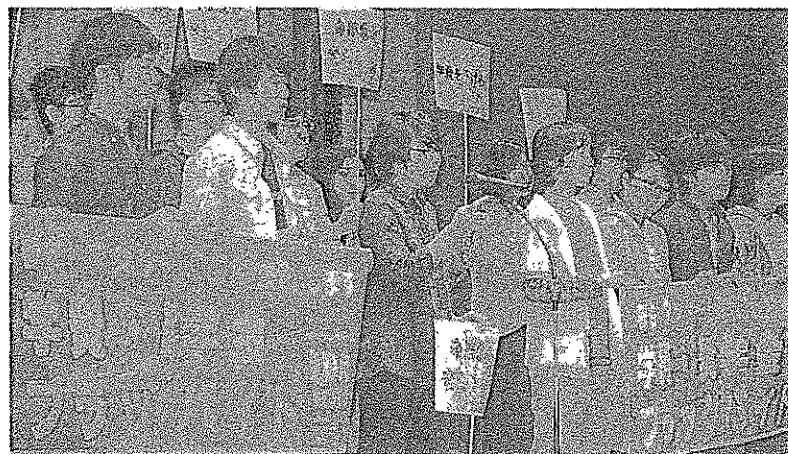
サウンドカーを先頭に「選挙に行こう」とコールする人たち=15日、東京都新宿区

# 「私たちの手で政治変える」

戦争法を廃止して、憲法にうたわれた平和や民主主義を実現し、参院選で政治をかえよう。15日、東京都内で若者憲法集会（同実行委員会主催）が開催されました。全体会の会場には、全国各地から1100人が集まり、熱気に包まれました。「日本の未来は、若者の声と行動にかかっています。私たちの命と自由のために、いっしょに行動し、私たちの手で政治を変えましょう」。参加者は満場の拍手でアピールを採択

## 熱気の若者憲法集会 シンポ・トークで行動交流

しました。主催者を代表してあいさつした日本民主青年同盟の小山農（みの）委員長は、戦争法強行後も多くの人が本中で声をあげ、若者が先頭に立っていると強調。参院選にむけて戦争法を廃止し、立憲主義を回復するために政治を動かす大きな力を発揮しているとして、「憲法をふみにじる政治を変えて、憲法が生きる未来への扉を開こう」とよびかけました。シンポジウムでは、自立生活サポートセンターもやい理事の稲葉剛さんと、矢崎曉子（あきこ）弁護士が、立憲主義回復や貧困の打開、政治をかえるとりくみについて青年と語り合いました。



憲法を守る取り組みをリレートークで報告する、若者憲法集会の参加者たち＝15日、東京都千代田

北海道で活動する「ユニキタ」の代表は、衆院北海道5区補選の得票が自民党を上回ったとして、「選挙を通してつながった私たちの力で勝ち取ったものだ」と強調。「社会を変える可能性に気づいたことは意味がある。北海道の動きが全国に広がれば、参院選は安倍政権を倒す大きな足がかりになる」と語りました。全体会に先立って8つの分科会が行われました。

だ。「LDA京都」の内なる働き方の改善を求める運動をすすめてきたこと、ふれ、「政治が私たちの要求にこたえなければ」と訴えました。